

- ◇平成24年度主な事業と施策を紹介……………2面
- ◇固定資産税等の各種制度紹介……………3面
- ◇子ども手当の手続きは3月31日まで……………4面
- ◇スポーツセンター特集……………5面
- ◇西宮ジャズ3days開催……………7面
- ◇さくら祭のイベント参加者募集……………8面

●発行(毎月10・25日)／西宮市役所：〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集／総合企画局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



教育委員会行政方針

夢はぐくむ 教育のまち

井ノ元教育委員長は、「夢はぐくむ教育のまち西宮」を掲げた教育委員会行政方針を表明しました。要旨は次のとおりです。

教育の推進にあたっては、多様な文化や個性、権利を尊重し、共に生き、支え合う協働という視点をもった社会

の構築に向け、力を注いでいきます。社会教育では図書館の運営方法を見直し、北口図書館の開館時刻を午前9時に繰り上げるほか、高齢者など来館困難な利用者へのサービス向上などに努めます。

子どもたちの笑顔輝く西宮の実現の



井ノ元教育委員長

ため、学校、家庭および地域の緊密な連携のもと、総がかりで子ども一人ひとりを、個性や特性を生かしながら育み、調和のとれた人間形成を図れるよう、「生きる力」の醸成に一層努めます。

学校教育の充実では、一人ひとりの児童・生徒に「確かな学力」の定着を図るため、市独自の学力調査を基に学校ごとの課題を明確にし、指導方法の工夫・改善を図ります。さらに、学校が自律的に活用できる「学びの指導員」を新たに配置し、各学校の特色ある教育活動を支援します。

河野市長は、3月定例会市議会初日に、平成24年度の市政運営の基本的な考え方と主要な事業や予算案などをまとめた行政方針を表明しました。

防災・減災対策、中央病院問題、アサヒビル西宮工場跡地とその周辺におけるまちづくり、保育所の待機児童対策、公共施設の耐震化や老朽化対策など、山積する課題を着実に克服しながら、活力と魅力あふれる「明るく元気なまち・西宮」の実現を目指します。



平成24年度行政方針を河野市長が表明

活力と魅力あふれるまち

子どもたちが健やかに成長できるように、平成24年度の保育所持機児童数ゼロを目指し、民間保育所を整備するほか、現行の面積基準を守りつつ、受け入れ枠の拡大を図るなど、さまざまな取り組みを行います。多様な障害児の支援ニーズに対応するため、「児童発達支援センター」の整備にも着手します。

また、学校施設については、早期の耐震化を進めるとともに、空調設備の整備にも着手するなど、教育環境の改善に取り組みます。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、山口センター内に高齢者の総合相談窓口のある地域包括支援センターを開

東日本大震災からの教訓を踏まえ、想定外の事態にも対応できるように、地域防災計画を見直すとともに、津波対策として、学校校舎を緊急避難施設として利用できるような施設を改善するほか、津波避難施設や地点標高を表示する標識を設置します。

また、本市の防災拠点となる防災センターの整備に向けた取り組みを始めるなど、災害・事故などの危機に強いまちづくりを進めます。

中央病院では、給与費比率の適正化に向け関係団体と協議を始めましたが、今後、経営形態を地方公営企業法の全部適用に移行する準備を進めるほか、アサヒビル西宮工場跡地への移転に向け基本計画を策定します。

また、一般・特別会計を合わせた24年度末における、基金残高(市の貯蓄)の見込みは164億6660万円、市債残高(市の借金)の見込みは1703億1659万円になっています。

歳出では、特別職の報酬削減を継続するなど経費の節減や、既存事業の見直しを行う一方で、社会保障関係経費の負担増に対応するとともに、子育て支援や障害者施策、学

被災地支援を継続

東日本大震災から1年、西宮の取り組み

昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年を迎えます。市民の皆さんにおかれましては、被災地支援を継続してまいります。

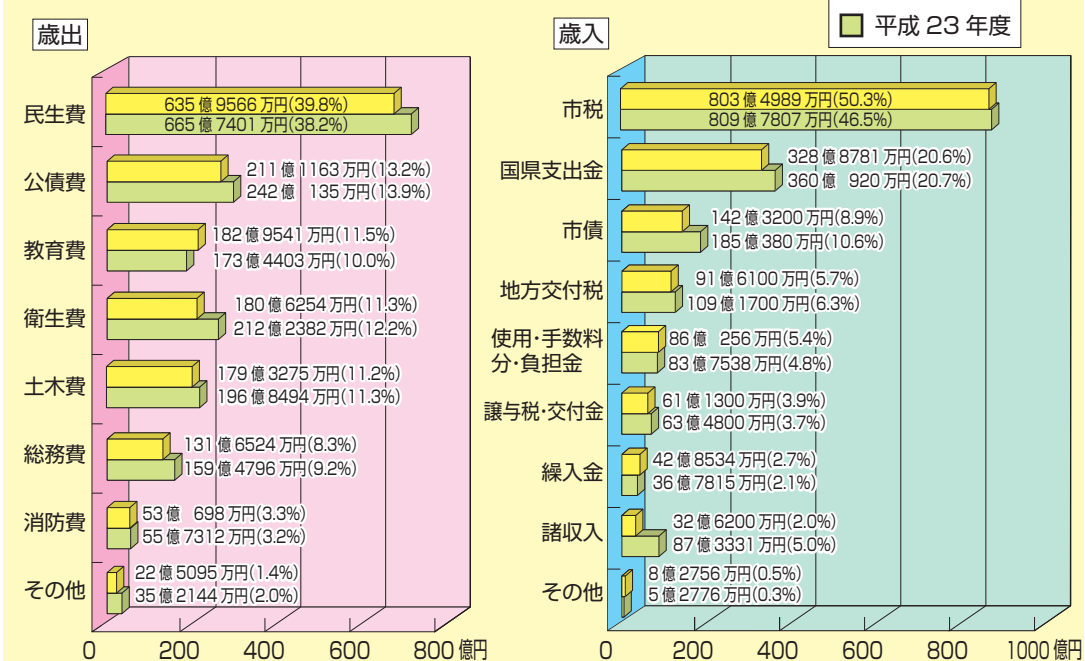
チームを結成し、現在も宮城県女川町・南三陸町への職員を中長期にわたり派遣するなどの支援を行っています。4月からさらに増員し、支援を継続してまいります。

平成24年度予算案の内訳

区分	予算額	前年度比
一般会計	1597億 2116万円	8.2%減
特別会計	793億 9298万円	5.7%増
企業会計	452億 9142万円	6.5%減
合計	2844億 556万円	4.4%減

※一般会計のうち借換債を除く実質的な予算額は1590億9896万円(前年度比7.9%減)

一般会計 総額1597億2116万円の内訳



平成24年度 予算案まとまる

市は、平成24年度の予算案をまとめました。

予算総額は2844億556万円になり、前年度予算に比べ、4.4%減となっています。

内訳は、一般会計1597億2116万円、特別会計793億9298万円、企業会計452億9142万円です。

また、一般・特別会計を合わせた24年度末における、基金残高(市の貯蓄)の見込みは164億6660万円、市債残高(市の借金)の見込みは1703億1659万円になっています。

歳出では、特別職の報酬削減を継続するなど経費の節減や、既存事業の見直しを行う一方で、社会保障関係経費の負担増に対応するとともに、子育て支援や障害者施策、学

校施設の耐震化、東日本大震災を教訓とした防災・減災対策など、市民ニーズを踏まえた施策や安心・安全を高める施策に重点的な財源配分を行いました。

また、歳入では、固定資産税の評価替えの影響などによって

この予算案は、現在開会中の3月定例会市議会が審議されています。

問合せは財政課(0798・35・3414)へ。

市税収入が前年度を下回るほか、地方交付税においても減額が見込まれますが、市有地の売却などにより歳入確保に努め、なお不足する財源は基金を取り崩して収支の均衡を図りまします。